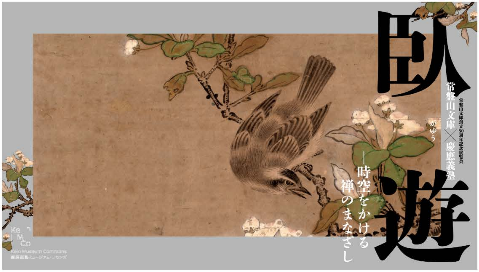
5

202310KeMCo

View Report

Campaign Preview | HTML Source | Plain-Text Email | Details

View this email in your browser


臥遊
がゆう
常盤山文庫×慶應義塾
常盤山文庫創立80周年記念展覧会
—時空をかける禅のまなざし
KeMCo
Keio Museum Commons
慶應義塾ミュージアム・コモンズ

展覧会「常盤山文庫×慶應義塾　臥遊（がゆう）—時空をかける禅のまなざし」が10月2日（月）より開催中です。
本展は、一週目は素の心で作品と向き合い、二週目は解説冊子を読みながら作品の背景や画賛もあわせて楽しんでいただく仕立てです。ゆったりとした雰囲気の中で、描かれた山水の中に想像をめぐらせる、「臥遊」の境地を体験してください。

KeMCoの近況

【開催中】常盤山文庫×慶應義塾　臥遊（がゆう）—時空をかける禅のまなざし

慶應義塾ミュージアム・コモンズは、常盤山文庫コレクションと慶應義塾の収蔵品より、禅宗の美術の展覧会を開催します。鎌倉時代、禅宗とともに日本に入り、禅寺で珍重された中国文化。それらは宗教の枠組みを越えて日本の風土のなかで広がり、室町文化の土壌となりました。本展は、時空をこえて広がる禅僧のまなざしを想像しながら、かれらがあこがれた聖人、心に思い描いた山水の世界を、臥遊の境地でゆったりと楽しむ展覧会です。
常盤山文庫は、1943年に実業家菅原通濟がその母体を築いたコレクションで、その一部は、慶應義塾に寄託されています。常盤山文庫の創立80周年を記念した本展では、寄託品のなかから、室町絵画の名品を中心に紹介します。併せて、慶應義塾の収蔵品より、一休や雪舟の作品を、2021年の寄贈後初めて披露します。

※臥遊（がゆう）＝寝そべりながら、山水の絵を眺めて、その世界に遊んだ気持ちになること

常盤山文庫×慶應義塾　臥遊（がゆう）—時空をかける禅のまなざし

会期｜2023年10月2日（月）～12月1日（金）［土日祝休館］11：00～18：00
特別開館｜10月14日（土）、11月25日（土）
臨時休館｜10月16日（月）、11月20日（月）
※期間中に展示箇所の入れ替えをする作品がございます。詳細はウェブサイトでお知らせします。
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
対象｜どなたでもご覧いただけます・事前予約不要
費用｜無料
主催｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ、公益財団法人常盤山文庫
協力｜慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫

シンポジウム開催決定
開催中の展覧会「常盤山文庫×慶應義塾　臥遊（がゆう）—時空をかける禅のまなざし」に関連し、シンポジウムの開催が決定いたしました。
日時、登壇者等の詳細は今後ウェブサイトでお知らせ致します。

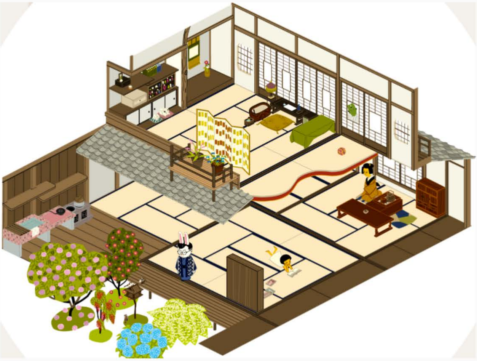
常盤山文庫×慶應義塾　臥遊（がゆう）—時空をかける禅のまなざし

トーク・イベント「エフェメラの住み処：ライブラリー、ミュージアム、アーカイヴ」を開催致しました

9月16日（土）に、トーク・イベント「エフェメラの住み処：ライブラリー、ミュージアム、アーカイヴ」を開催致しました。今回のトークでは異なる文化機関で活動されている方々にご登壇いただきました。
第一部のパネルトークではそれぞれの立場からエフェメラとのかかわりについてお話をいただき、第二部ではそれを踏まえ、いくつかのトピックスについてディスカッションを行いました。会場からもたくさんの質問や感想をいただき、イベントは盛況のうちに終了致しました。
今回のトーク・イベントは、来年3月よりKeMCoで開催予定の美術領域における「エフェメラ」に焦点を当てた展覧会に先駆け開催致しました。イベントの開催報告や展覧会の情報は、追ってKeMCoのウェブサイトでお知らせして参ります。

エフェメラの住み処：ライブラリー、ミュージアム、アーカイヴ

【WEB展覧会】再現！番町の家 泉鏡花記念館 × Keio Exhibition RoomX



2023年は、泉鏡花（1873-1939）の生誕150年にあたります。
泉鏡花記念館（石川県金沢市）では、空襲によって焼失した鏡花の終の棲家・通称「番町の家」を再現するために、歴史的背景や泉家の建築構造などの調査を行いました。
この調査に基づいて企画されたのが、特別展「再現！番町の家」（2023年10月1日～11月26日）です。

慶應義塾図書館、そして泉家遺族のもとに分蔵されている、自筆原稿をはじめとする鏡花の創作活動の足跡を示す資料、それらの執筆生活を支えた愛用品の数々で「番町の家」を再現しています。慶應義塾ミュージアム・コモンズ（KeMCo）では、泉鏡花記念館、慶應義塾図書館とコラボレーションして、「再現！番町の家」のWeb版展覧会を開催致します。
KeMCoが開発したオンライン展覧会システム「Exhibition RoomX」を使って、オンラインにだけ存在する一風変わった「部屋」として、番町の家を再現しています。
建築構造の調査に基づき、イラストレーター中川学氏が描きだした家の中を、マスコットキャラクターが歩き回ります。部屋の中にちりばめられた鏡花愛用の品々を、是非クリックしてみてください。

【WEB展覧会】再現！番町の家 泉鏡花記念館 × Keio Exhibition RoomX

URL｜https://kyoka.kemco.keio.ac.jp/#/
日付｜2023年10月1日(日)～2024年3月31日(日)**（期間限定公開）**
場所｜オンラインで開催します。上記URLよりお入りください。
対象・費用｜どなたでもご覧いただけます・無料

再現！番町の家 泉鏡花記念館 × Keio Exhibition RoomX

【教職員向け】KeMCo StudI/O 撮影オープンデイ2023

KeMCoには、KeMCo StudI/O という撮影スタジオがあるのをご存じでしょうか？小さいながら、高解像度のデジタルカメラや照明機材、接写台などを備えたスタジオです。
昨年に続いて、スタジオの撮影リソースをシェアする新しい試みとして、「KeMCo StudI/O 撮影オープンデイ」を開催します。
お手元にある研究・教育コレクションをKeMCoのスタジオで撮影してみませんか？
撮影は、貴重書や文化財の撮影を専門とするフォトグラファーが担当します。
ご見学のみも大歓迎です！この機会にぜひ、KeMCoに立ち寄ってみてください。

KeMCo StudI/O 撮影オープンデイ2023

日時｜
平面撮影Day｜カメラを真上から構えて撮影します（例：貴重書、版画など）
11月7日（火）10:00-13:00、14:00-16:00
立体撮影Day｜カメラを斜めから構えて撮影します（例：彫刻、掛け軸など）
11月8日（水）10:00-13:00、14:00-16:00
場所｜三田キャンパス 東別館 KeMCo StudI/O（8F）

Feedback

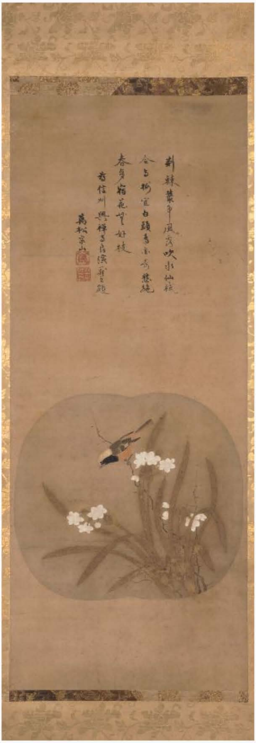
対象・費用｜慶應義塾教職員のみなさま・無料
※見学のみの場合はご予約は不要です。学生の方もご覧いただけます。
※本イベントは一般の方は撮影・見学ともにご参加いただけません。予めご了承ください。

WEBサイトをご確認いただきお申し込みください。

KeMCo StudI/O 撮影オープンデイ2023

展示室より、推しモノ #21

開催中の展覧会「常盤山文庫×慶應義塾　臥遊（がゆう）―時空をかける禅のまなざし」より、一作品を紹介いたします。



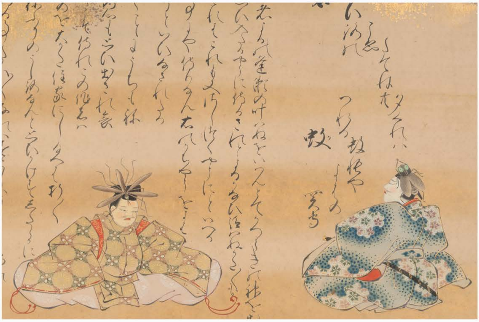
宗山等貴賛《水仙小禽図》室町時代（15-16世紀）、紙本着色、常盤山文庫所蔵（慶應義塾寄託）

禅宗寺院において鑑賞される絵画は、宗教的なものとは限りません。風景を描いた山水図や動植物を描いた花鳥図などもありました。この絵は、水仙の花が美しく咲いているなか、ひょろっと伸びたイバラの枝に止まって、それを見つめている白頭鳥（ムクドリとされる）を描いています。中国では花や鳥にはそれぞれ特有のイメージ・象徴性があって、

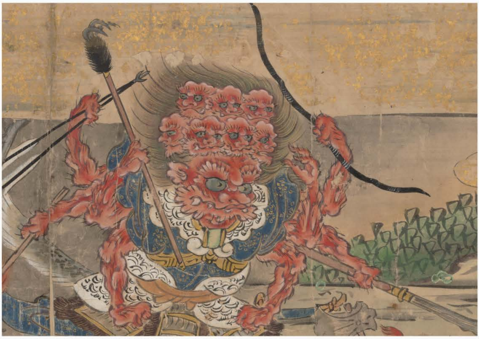
中世日本の禅宗寺院においてもそれは継承されているようですが、禅僧独特の好みだったり、禅特有の約束事だったり、そういう独自性も加わっている場合があります。それを読み解くヒントになるのが、上部に記された画賛です。作者は伏見宮家という皇族の出身で、京都五山相国寺の僧侶となった宗山等貴（1464-1526）、贈られた相手は信州木曽興禅寺の叔雅良演という若い僧侶です。さて、この絵では鳥や花は何を表しているのか？解説を参考にしながら、絵を見て詩を読み、また絵に帰る、そういう往復運動のなかでイメージをふくらませていただければと思います。

堀川 貴司（慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 教授）

空き地



虫の歌合（江戸前期写）屏風六曲一双
ハエ vs 蚊



貴船の本地（江戸前期写）絵巻
恋した姫の父は鬼国の大王

KeMCoからメディアセンター（図書館）にメールが届く時、何かが始まる予感がします。明治浮世絵の背景や質感を考える授業や、KeMCoの展示への古典籍の出品打診をはじめ、泉鏡花愛用の大うさぎ手あぶりを３D撮影し、くるくる回してお腹も見られるようにしたり、北斎の富士山をかき氷にしたり…KeMCo企画はいつも自由なアイデアが満載です。思いもよらぬ彩り豊かな世界で当館の蔵書に活躍の機会が与えられることは、図書館員として大変勉強になります。現在出ている指令は、毎年恒例・KeMCo新春展示のお題に合う出品物探し。他部署に負けない貴重書を鋭意探索中です！
今回私に出された指令はもう一つ。慶應義塾図書館貴重書展示会「へびをかぶったお姫さ

ま」（10月4日～10日・於丸善丸の内本店）の紹介です。皆様は「奈良絵本」をご存知でしょうか？奈良時代や奈良県...ではなく、室町後期～江戸中期頃に作られた手彩色のゴージャスな絵本や絵巻物です。「へびをかぶったお姫さま」というパワーワードのもと、監修の文学部・石川透先生のお好みで「とにかく派手に！」鬼や天狗、異類の美女やとぼけた魔物・動物たちが金銀の極彩色の中を跋扈します。わずか1週間の短い展示ですが、ぜひご来場ください！

竹内 美樹（三田メディアセンター　スペシャルコレクション担当）

へびをかぶったお姫さま —奈良絵本・絵巻の中の異類・異形—

お知らせ

三田でご覧いただける展示

特別企画　三田につるの屋があった頃。
9月20日(水)～**10月7日(土)**
会場｜福沢諭吉記念 慶應義塾史展示館

Artist Voice III: 駒井哲郎　線を刻み、線に遊ぶ
10月10日（火）～2024年1月26日（金）
主催｜慶應義塾大学アート・センター
会場｜慶應義塾大学アート・スペース

学外でご覧いただける展示

第35回慶應義塾図書館貴重書展示会
「へびをかぶったお姫さま —奈良絵本・絵巻の中の異類・異形—」
10月4日（水）～**10月10日（火）**
会場｜丸善・丸の内本店4階ギャラリー
主催｜慶應義塾図書館
協賛｜丸善雄松堂株式会社

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想はこちら

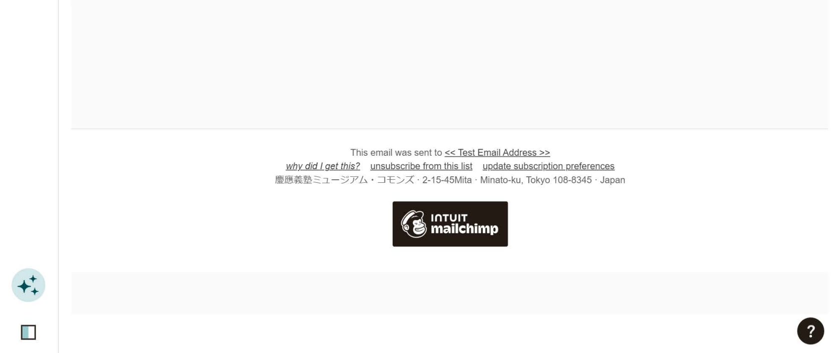
次回の*KeMCo Voice*は*2023*年*11*月に配信予定です。
過去のニュースメールはこちら

Copyright © 2019-2023 慶應義塾ミュージアム・コモンズ　Keio Museum Commons

〒108-8345　東京都港区三田2-15-45

Tel:　03-5427-2021　Fax:　03-5427-2022
お問い合わせ

KeMCo Voiceの配信停止をご希望の方はこちら



This email was sent to << Test Email Address >>
why did I get this? unsubscribe from this list update subscription preferences
慶應義塾ミュージアム・コモンズ · 2-15-45Mita · Minato-ku, Tokyo 108-8345 · Japan